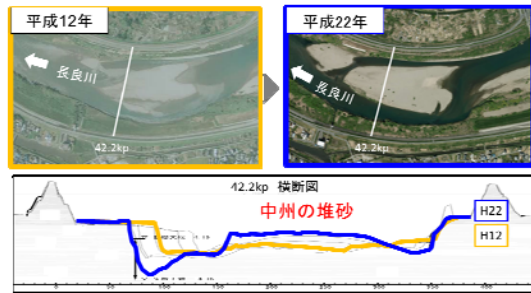


多自然川づくり取り組み事例

タイトル：長良川のコアジサシに配慮した中州の切り下げ手法の検討			
水系／河川名：木曽川水系 / 長良川		河川分類：大河川	
河川の流域面積：1985km ²		整備計画流量：8000m ³ /s(W=1/50～60)	
事業：河川改修		セグメント：2-1	
事業開始年度：平成28年度		目標設定：定性的	
段階：D(実施・施工時)		課題・目的(主な)：流下能力の確保、貴重種、特定動植物の保全、礫河原、砂州・中州の保全・再生・創出	
工法(主な)：掘削(低水路)、掘削(河床)		配慮事項(主な)：その他	

背景・課題、目標設定

- 当該区間は、流下能力不足(整備計画要対策)区間であり、中州は堆砂・樹林化傾向にある。



- 当該区間の中州にはコアジサシの営巣地がみられる。



環境省レッドリスト：
絶滅危惧種Ⅱ類

岐阜県レッドデータブック：
絶滅危惧種Ⅱ類

木曽川水系河川整備計画：
保全対象

表 当該区間の中州における営巣実績

	H12	H17	H22	H24	H25	H26	H27	H28
営巣数	50	0	3	17	6	0	0	0

⇒ コアジサシの営巣地環境に配慮した中州の切り下げを検討

取り組み内容・対策例

河道の物理環境、コアジサシの生息環境を整理し、専門家の助言を踏まえ、中州の切り下げ手法を決定した。

- ① 植被率の低い砂礫河原
：中州の切り下げと同時に樹木伐開を実施
- ② 営巣に適した河床高
：営巣時期に冠水し難い河床高として標高4.0mを選定
- ③ 外敵の侵入を防ぐ滞筋確保
：現況の滞筋が確保できる全面切り下げを実施

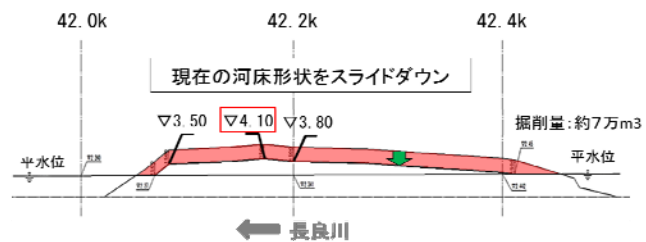


図 中州の切り下げ図(縦断面図)

モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

施工時の配慮事項

1. 施工時期について



内務・建設省自然環境政策課(平成28年5月)、コアジサシの営巣地の保全・回復計画
コアジサシの営巣に影響のない12月～3月に施工

2. 工区割り

一度に一気に環境を改善することを避けるため、2か年に分けて掘削を実施



3. 関係者説明

施工に先立ち「野鳥の会」への説明を実施し、了解を得ている

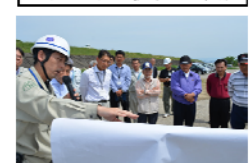
施工後の方針

モニタリング：定点撮影



○コアジサシの営巣に適した中州の状況を把握
○飛来前に実施(毎年3月頃)

地域との現地視察会の実施



長良川流域地区河川整備推進会(瑞穂市)(平成28年5月19日)の様子
地域と意見交換を実施

⇒ 必要に応じて専門家へ相談し、コアジサシの保全に努める

備考